

【読者参加企画】

私のひとり旅

27

「今回の旅人」 須川真也さん（兵庫県在住）

昼は蕎麦をハシゴ、夜は：

蕎麦といえば東日本の食文化のイメージがあるが、西日本にも旨い蕎麦があちこちにある。蕎麦好きの私が今回、蕎麦喰う旅の目的地に選んだ場所は、島根県奥出雲地方だ。なぜかというと、ここには絶滅寸前の在来種「横田小そば」を使った蕎麦があるからだ。

朝イチに新神戸を出発し岡山まで新幹線、特急、在来線乗り継いで出雲横田に昼過ぎに到着。駅から徒歩10分の「一風庵」という店に行く。件の横田小そばを使った蕎麦は1日限定15食なので、行く前に電話で予約しておいた。「野の香」と名付けられた蕎麦は香りが強く、色は田舎蕎麦のようだが細打ちの喉越しのよい蕎麦だった。蕎麦つゆは辛汁ではなく、関西人の私にも馴染みやすい味である。割り蕎麦を追加注文し、30分ほどの滞在時間で店を後にした。なにぶんにもローカル線の旅なので列車の時間を気にしながらの旅なのだ。

次に降り立ったのは隣の亀嵩駅。蕎麦屋が併設されていることで人気の駅だ。今回は蕎麦を食べるためだけに来たのだ。注文したのは「そば弁当」。事前予約しておけば到着時間に到着ホームまで出前してもらえるという。再び列車に乗り、宍道で乗り換えて、松江到着は18時過ぎ。駅に近いホテルに荷物を置いて、宍道湖畔にあ

幻の在来種で打った蕎麦を味わいに 奥出雲、蕎麦三昧のひとり旅

START 1日目



木次線出雲横田駅。しめ縄が張られた駅舎は昭和9年開業当初からのもの。さあ、蕎麦喰う旅の始まりだ

純そば 一風庵

じゅんそば いっぶうあん ☎0854-52-9870
島根県奥出雲町下横田89-2 ☎11時～15時30分(L.O) ㊿木曜、最終水曜 ㊿JR木次線出雲横田駅から徒歩10分



㊿JR新神戸駅からJR岡山駅まで新幹線で約40分、特急「やくも」に乗り換え宍道駅まで約3時間、木次線に乗り換え出雲横田駅まで1時間30分



右：いきなり今回の旅のハイライト。希少な在来種で打った1日限定15食の「野の香」 左：こちらは「割り蕎麦」。三段の朱塗りの漆器に蕎麦が盛られている



「これって居酒屋放浪記じゃないよな」とひとりツツコミをいれながら歩く松江の夜



松本清張『砂の器』で有名な亀嵩駅の、駅舎内にある「扇屋そば」。そのまま食べられる「弁当そば」は500円

扇屋そば

おおぎやそば ☎0854-57-0034 島根県奥出雲郡那賀町340 ☎9時30分～17時(L.O) ㊿火曜(祝日の場合は営業) ㊿JR木次線亀嵩駅構内



お小遣い合計 **3万1680円**

㊿ JRおとなびバス他	1万8500円
㊿ 宿泊代 1泊	5400円
㊿ 食事代	3880円
㊿ 拝観料など	900円
㊿ 土産代	3000円

※1：在来種＝育てやすく品種改良されたものではなく、昔からその土地で栽培されていた種子

※2：宍道湖七珍＝宍道湖で獲れる魚介類：スズキ、モロゲエビ（ヨシエビ）、ウナギ、アマサギ（ワカサギ）、シラウオ、コイ、シジミ（ヤマトシジミ）を指す

※3：おとなびバス＝JR西日本おとなび会員限定の期間限定トククきっぷ。JR西日本全線（山陽・北陸新幹線含む）、智頭急行線全線・JR西日本宮島フェリーが3日間乗り放題になる。普通車用1万8000円、グリーン車用2万2000円

る同じ系列のホテルの温泉に汗を流しに行く。そのあとは冷たいビールで喉を潤すのがきまりだ。松江には日本海の海の幸や宍道湖七珍でもてなしてくれる居酒屋がいろいろある。今回は蕎麦を食べる旅なので詳細は省くが、郷土料理の店をハシゴして最後はバーで締めくくり、松江の夜を満喫した。

出雲特有の蕎麦も堪能

翌朝、早起きをして宍道湖畔を散歩する。どんよりした雲の切れ間から青い空がのぞいていた。ぶらぶら歩いて国宝松江城へ向かい、人影もまばらな中でゆつくりと写真を撮る。ホテルでチェックアウトを済ませて松江駅前からバスに乗り、地元でも評判の蕎麦屋ふなつへ。

出雲蕎麦には松江発祥の割子蕎麦と、出雲大社が発祥地である釜揚げ蕎麦の2種類がある。江戸時代、野外で蕎麦を食べるために用いられた容器を割子とよび、それが今の割子蕎麦のはじまりという。かたや釜揚げ蕎麦は、神在月に蕎麦を食べる風習がある出雲地方で、11月の寒い時期にあつたかい蕎麦をという考えで生まれたとか。茹でた蕎麦を蕎麦湯で器に入れ、蕎麦つゆや薬味をかけて食すという独特なスタイル。せっかくなので両方を注文した。そのあと不味公ゆかりの月照寺で庭を観ながらお抹茶をいただき、さらに、昨夜居酒屋で飲んだ「李白」という酒が旨かったのを思い出して酒蔵まで行き、試飲しておみやげにお酒を買った。

以上が今回の蕎麦喰う旅だが、JR西日本の3日間乗り放題の「おとなびパス」を使ったので、翌日、日帰りで福井に行き、越前おろし蕎麦を食べるという番外編も楽しんだ。

2日目



早起きをして宍道湖畔を散歩。雲の切れ間から青空がのぞいていた



まだ松江城にも人影がなく、ゆつくりと撮影できた

松江城

まつえじょう ☎0852-21-4030 島根県松江市殿町1-5 ☎8時30分～17時(4～9月は7時～19時30分) 天守閣は8時30分～17時(4～9月は～18時30分) ⑥無休 ⑤登閣料560円 JR山陰本線松江駅からレイクラインバスで約10分、国宝松江城大手前下車すぐ



地元の人気店「ふなつ」で出雲蕎麦を食べ比べ。こちらは割子蕎麦

中国山地蕎麦工房 ふなつ

ちゅうごくさんちそばこうぼう ふなつ ☎0852-22-2361 島根県松江市外中原町117-6 ☎11～15時 ⑥月曜 ⑥一畑電車松江しんじ湖温泉駅から徒歩10分。またはJR山陰本線松江駅からレイクラインバスで約20分、月照寺前下車、徒歩1分



松江藩主松平家の菩提寺、月照寺にて、松江の茶の湯文化に触れる

月照寺

げっしょうじ ☎0852-21-6056 島根県松江市外中原町179 ☎9時30分～16時30分(4～11月は9～17時) ⑤500円 JR山陰本線松江駅からレイクラインバスで約20分、月照寺前下車すぐ

GOAL



蕎麦も好きだが酒も好き。明治創業の「李白酒造」を訪ねて、お土産に純米酒を購入

李白酒造

りはくしゅぞう ☎090-9733-8539(試飲コーナー専用ダイヤル) 島根県松江市石橋町335 ☎試飲コーナーは8時30分～18時(土・日曜、祝日は10～17時) ⑥無休(臨時休業あり) JR山陰本線松江駅から川津、あじさい団地、平成ニュータウン行きバスで約15分、石橋町下車、徒歩3分

皆さまからのプランをお待ちしています!

「私のひとり旅」では、あなたのとおきの旅プランを募集しています。鉄道旅、趣味の旅、誰かに会いに行く旅など、旅行のスタイルは問いません。あなたにしかできないこだわりのひとり旅をしていただき、その旅の模様をレポートして下さい。〈謝礼〉採用された方には、3万円を差し上げます。旅費はご負担下さい。

応募要項

以下の所定事項をご記入の上、郵送・FAX・メールにてご応募下さい①名前(フリガナ) ②住所 ③電話番号 ④FAX番号 ⑤読者番号(11桁) ⑥Eメールアドレス ⑦生年月日 ⑧性別 ⑨ご職業 ⑩あなたの旅行プラン(ルートや予算などなるべく具体的に)

郵送 ▶ 〒162-8446

東京都新宿区弘方町25-5
JTBパブリッシング
ノジュール「私のひとり旅」係

FAX ▶ 03-6888-7839

メール ▶ nodule-edit@rurubu.ne.jp

※いずれも「ノジュール 私のひとり旅」と明記のうえ、お送りください。